

三中だより

令和7年度 8月号



令和7年8月7日発行
荒川区立第三中学校
(学校通信 R7 No. 2)
校長 下斗米 八穂

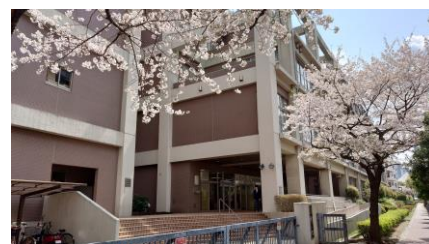
一学期を振り返って 創成から次の実践へ

4月に幕を開けた令和7年度の教育課程は、先月7月18日(金)をもって一つの区切りである学期末を迎えました。今年度の始めからここまでの4カ月の間、生徒をとりまく出来事が幾つもありました。保護者の皆さまと地域の皆さまには、その都度、大きなお力を寄せていただき、おかげ様をもちまして、終業式の日を迎えることができました。この場をお借りして、御礼申し上げます。

学校は、学校だけで教育活動を進めていくものではありません。生徒は、家庭の一員であり、社会の形成者となる存在です。一学期には、折につけ、保護者の皆さまや地域の皆さまの、「ともに子どもたちを育んでいこう」と差し伸べていただいた、積極的な連携推進の熱いお気持ちをひしひしと感ずることができました。併せてその思いに応えていく学校でなくてはならないと、改めて地域における学び舎としての使命を思うところであります。

二学期は、これまでの一学期の継続の先にある、次の充実した活動の姿が期待される期間です。

4月に新しい仲間、新しい役割をもってスタートしたそれぞれの生徒、学級、学年、学校が、一学期の4カ月で少しずつ練り上げられてきました。一学期は、互いの思いを知り、互いを尊重し、自分の立ち位置を確かめ、集団の向かう方向性を共有する期間でした。積極的な挑戦を試み、うまくいかずに悩んだり、新しい自分を見つけたりして、確かな一歩を踏み出す生徒の姿がありました。



夏休みを経て、9月に始まる次の二学期は、ここまで育んだ力を発揮する機会が待っています。肯定することができた一学期の自分や集団が、次に何を実現できるものか、そんな自分の未来にワクワクできるような希望をもつことができる二学期のスタートになることを願います。

一学期末には各クラスの話し合いで自由曲を決め、合唱の取組が始まりました。10月には、合唱コンクールと舞台で表現をする汐輝祭を行います。

1学年の生徒は、入学式以降に見通しをもてずに不安だった時期を抜け、先輩の姿に自分を重ね、頼もしい表情になりました。

2学年の生徒は、9月には、地域の方々に見守っていただいて勤労留学を実施させていただきます。さらには、9月は、新しい生徒会役員を選出する継承の入り口に立ちます。10月の下田移動教室では、学年集団のこれまでの成果と課題が見えてくることでしょう。ここから、次の三中が生まれてきます。

3学年の生徒は、後輩を育成しつつ、己と向き合う季節を迎えます。各々の道を切り拓く「進路」の取組は、終業式の学年生徒代表のお話の中に、生徒自身が「団体戦」と呼んでいました。長く培ってきた自分の居場所が、大きな支えになることと信じて前進していただきたいものです。

生徒が、自分の成長を感じ、その成長によってどれだけの新しいことができるものか、希望をもって翌日を迎えるような教育活動でありたいと思います。長期休業を挟んだ節目の夏に自分と家庭の時間で日頃はできないような熟考の時間をもち、新学期に、元気に登校する生徒の表情を楽しみにしております。

※ 一学期の終わりと夏休みの始めにあたり、7月18日(金)の終業式では、校長から次のような話をしました。
(7月16日(水)の保護者会にて、保護者の皆さまにご挨拶した内容に準じております。)

今は、令和7年、西暦2025年です。この1年間の始まりはどこからですか？ 新年お正月の1月から始まり、終わりは年末12月の大みそかまで、これが一年間ですね。

この、世の中の1年間に対して、学校は4月から3月を「年度」と呼び、学校の一年間として12カ月を区切っています。今は、来年の3月までの、令和7年度の4カ月目です。

そして、その一年間を3つの学期に区切って、その節目にみんなで心を合わせて振り返りを行います。その時間がこの終業式であり、今日は一年の中の節目として大事にしたい一日です。

ということで、4月に幕を開けた令和7年度の学校生活は、本日をもって一つの区切りである「学期末」を迎えます。この4カ月の間、皆さんをとりまく出来事が幾つも生じてきました。日々の出来事もありました。授業も毎日行われました。行事もありました。この体育館に集まった荒川区立第三中学校の生徒の皆さんは、一つひとつの出来事にちゃんと向き合い、ときには考え、ときには力を合わせ、よく頑張ってきました。

本日の学期末の日を迎えることができたというのは、本当に素晴らしいことだと私は思います。それは、皆さんが日々を積み重ねて到達した日であるからです。

ともすれば、日々はあっという間に過ぎていきます。三年生のみなさん、本当にあっという間に過ぎてしまうんですね。だから、時の流れに埋もれてしまわないように、今という瞬間を大切に、一緒に過ごす時間を大切に、その積み重ねを確かなものとしたいと思います。

一学期は、どんな日々でしたか？

私は、この学校で4カ月を過ごしてきて、印象深く残っている点が一つあります。まずは、この4カ月の印象を1つ、お話させてください。それはみなさん、この三中の皆さんがもつ「集団の力」のことです。集団の力には、この集団の一員である個人とそのつながりが表れてきます。同じ学校の中でも、学年の個性があります。三中独自の、他の学校とは異なる特性も表れてきます。

春からこの夏まで、多くの場面で、荒川第三中学校には生徒の声が響いてきました。

- ・それは、どうするべきかという大事なことを共有する声、
- ・あるいは、卒業生や先輩を目標として理想を掲げる声、
- ・ときには、前向きに互いを鼓舞して、モチベーションをあげる声 など、

大変好ましい声が多く交わされています。例えば、今週初めの生徒会朝礼は、生徒によって学校をよりよくするにはどうしたらよいか、という声がたくさん盛り込まれていました。授業には、皆の時間を大切に、共に能力を伸ばしていこうとする雰囲気大切にしている生徒の皆さんがいます。この学校には、生徒の生活は、生徒自らできちんと整えていこうという伝統が息づいている、ように思います。

私は、校長として、この皆の声が交わされる学校の姿が、生徒の皆さんがつくっている「伝統」なのかなと思い、いつも嬉しく思っています。

1学期は、三年生のリーダーシップが特に大きく表れました。これまで学び、培ってきた力をいかになく発揮して見せてくれた最上級生でした。その胸のうちには、プレッシャーであったり、進路に対する不安も抱いていたりすることだと思います。それでも、スクラムを組むかのように、ぶれることなく、学年皆で力を合わせて学校を引っ張ってくれました。

二年生は、その三年生の姿を見ながら、次第に学校のバトンを受け継ぎつつあることを感じていますね。後輩たちみんなの学校生活を背負う日が近づいていることを思い、三年生からできることは全部吸収しようと貪欲に視線を向けています。これこそ、リーダーを担う未来に向き合う姿です。生徒会役員選挙の告示もなされ、二学期早々に、節目となる引継ぎの日はやってきます。

一年生は、私が思っていた以上に早く、中身が小学生から中学生になりました。個々の判断力には差はありますが、理想や目標を共有することのよさをよくわかっています。先週の清里移動教室の集団生活に一緒に行きましたが、班行動を成し遂げようと頑張る姿を見せてもらいました。二学期に、もっと力を合わせる場面がきたら、どのような集団の力を発揮してみせてくれるのか、楽しみです。

また、皆さんの保護者の皆さまと地域の皆さまには、いつも大きな力を寄せていただきました。支えていただいていることに感謝の気持ちをもって、今日の終業式としたいと思います。

「いつも荒川第三中学校を応援してくださって、ありがとうございます。」と皆さんからも、機会があったらお礼の気持ちを伝えてください。

さて、夏休みに入ります。

どのような夏休みになるか、見通しや計画は立てましたか？

私は、いつもの夏のように過ごすならば、趣味のドライブが楽しみです。時間を見つけて、日本全国、どこまでも走りたいと思っています。どんな新しい出会いや、初めて見る景色が待っているか、楽しみにしています。

夏休みのしおりの最初のページに、皆さんへ送るメッセージを掲載しました。ぜひ、読んでみてください。自分のペースを考え、ゆっくり、そしてじっくりと過ごしてほしいと思います。

また、地域の一員として、どれだけのことができるものか、探してみしてほしいと思います。中学校の三年間を終えるということは、義務教育を終えるということ、そしてそれは、社会の一員になることを意味します。

この三中を離れたとき、

- ・この地域社会でどれだけ関わりがもてるのか、
- ・地域の中でどれだけ自分の居場所が作れるのか、
- ・自分はどうやったら地域の作り手になれるのか、

という視点で、夏休みを過ごしてみてください。

特に、卒業を控えた3年生、そして勤労留学の準備に入る2年生には、意味のある夏休みの過ごし方だと思います。

今日は通知表を受け取って帰ります。これまで取り組んできたことと、これからの目標を確かめてから夏休みをスタートしてください。また、夏休み中に不安に思うことや困ったことがあったときには、学校の先生にもどうぞ相談してみてください。全員の先生が学校に来ているわけではありませんが、一緒に考えることができると思います。

二学期は、一学期以上にいろいろなことができる時期です。

学級の力もついてきました。学年の力もついてきました。何より、これまで以上に、皆さん一人ひとりが考える力をつけています。今日という日までできたことの延長に、二学期の荒川第三中学校がどのような学校になるのか、とても楽しみです。

全員、元気に、9月1日に また集まりましょう。

《 一学期 活動の成果 》

(順不同)

《荒川区中学校体育連盟》

◆バレーボール部

春季大会 女子の部 第3位
(ブロック大会出場)

◆ソフトテニス部

春季大会 女子ダブルス 第3位
さん
さん

◆硬式テニス部

東京都中学校テニス選手権大会出場
男子シングルス
さん

《東京都中学校体育連盟荒川支部》

◆バスケットボール部

荒川区夏季選手権大会
男子の部 第3位

《東京都中学校体育連盟》

◆バドミントン部

第Cブロック 東京都総合体育大会
男子団体 第3位

《東京都中学校体育連盟》

◆バドミントン部

第Cブロック 東京都総合体育大会
男子団体 第3位

《東京都中学校体育連盟主催大会》

◆陸上部

第76回東京都中学校
地域別陸上競技大会
男子東部 共通200m
第5位 記録23秒47
さん

《荒川区教育委員会主催大会》

◆卓球部

荒川区中学校総合体育大会
女子団体 第3位
男子団体 第3位

◆ソフトテニス部

荒川区中学校総合体育大会
女子団体 第3位
女子ダブルス 第3位
さん
さん

◆バドミントン部

荒川区中学校総合体育大会
男子ダブルス 第1位
さん
さん
男子ダブルス 第3位
さん
さん
女子ダブルス 第3位
さん
さん

《荒川区中学生バドミントン運営委員会》

◆バドミントン部

全日本ジュニア選手権大会
荒川区予選会
女子シングルス 第3位
さん

《荒川区中学校体育連盟

バスケットボール部運営委員会》

◆バスケットボール部

夏季総合体育大会
優秀選手賞 さん

《 一学期 教育活動のご紹介 》

5月 3学年 修学旅行

5月22日(木)～5月24日(土)の3日間、3学年の生徒は、関西方面の修学旅行へ行っていました。初日は、話題の大阪万博を訪れ、国際色豊かなパビリオンを回り、世界規模の多様性を感じることができました。2日目と3日目は、歴史的・文化的な施設に触れる京都市内班行動を実施しました。アクシデントが次々と生じる中、事前学習の成果を生かし、安全な行程を全班が成し遂げることができました。思いやりの心を交わし、相互に力を合わせて到達する、といったこの学年の長所を自覚し、卒業までの限られた日々を一緒に大切に過ごそうと誓い合う生徒たちでした。



6月 運動会

激しい雨によって当初予定日の5月31日(土)から延期した運動会は、翌週6月3日(火)も大雨。それでも、ぬかるみの少ないグランドコンディションにより安全の確保ができたことを確かめ、一部実施の判断をしました。体調を崩すことを心配し、最終的には午前中に終了としましたが、生徒は雨に挑むかのように、力強い演技を笑顔で見せてくれました。また、できなかった種目分は、さらに翌日の午後に授業公開を行い、快晴の下、全校生徒で達成感を味わいました。

雨天の中をご観覧においでいただきました保護者や地域の皆さまには心より感謝いたします。よりよいものを求めて、討議を重ね、改善の努力を重ねてきた生徒の成長の様子を感じていただけたものと思います。ご声援をいただきありがとうございました。



※ 6月中頃から、令和7年度学校ホームページの運用を開始しました。

「6月 三組 清里移動教室」「7月 1学年 清里移動教室」

をはじめとして、徐々に掲載記事や情報を追加しております。是非ご覧ください。



《 お知らせ 》

(1) 二学期から、水泳指導を再開します。

(7/11スクレリ既報事項とその続報)

7月10日(木)2校時目の水泳指導中に、学習環境確認用の水温計のカバーガラスが、長さ6cmに渡って破損していることを、授業指導中の教員が発見・確認をしました。この際、破片が水中に残存していると思われるため、水泳指導を中断する対応をいたしました。当授業開始時に水温を確認して日誌に記録をしていたため、開始数十分ほどで入退水用の梯子様の壁面設備に接触したことが原因と推測されます。

直ちに荒川区教育委員会へ報告と相談の上、プールの水を抜き、教員がモップを用いてプール底面の遺物を洗いながす清掃を行いました。さらに、7月29日(火)に、校長と体育科教員が30分以上を要して、隅々まで目視確認を行いました。プール底面を低い姿勢で計20往復程行き来して、破片の残部がないことを確認しました。

この出来事により、一学期末に予定していた水泳授業の約一週間分を中止としました。幸い、雨天中止を見込んだ授業計画を実施しており、今年度はこれまで中止となった時間がありませんでした。よって、今回の中止に伴う補講は必要ございません。また、希望生徒を対象とした夏季休業中の水泳指導及び、三組生徒を対象とした同水泳指導は、残念ながら中止せざるを得ませんでした。

8月前半時点では、プールに再度水を張り、水質管理を行っております。二学期から水泳指導を再開する見込みであります。保護者の皆さまには、ご対応いただきましてありがとうございました。



(2) 二学期は、9月1日(月)から始まります。

初日は始業式の後、学活などを行い、11:10から、震災を想定した引取り訓練を行います。

保護者の皆さまには、ご対応のほどをよろしくお願いいたします。

また、長期休業明けは、子どものこころの変化を特に見守る必要があるタイミングです。

悩みごとや困ったことを胸に抱えている様子や、いつもとは異なる様子のお子さんの姿に気付いたときは、迷わずに学校や各所相談窓口へお声かけください。重大な危険行為にいたらぬよう、ご家庭や地域、教職員の連携によって、子どもたちを支援してまいりましょう。

※ 文科省「子供のSOSの相談窓口」https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/06112210.htm

